

バス停からの 小さな旅



文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します。

29 「太田小学校(あまちの森・しょうよう線)」 から9・28災害の浸水位標柱を訪ねて



今回乗車したバス
行き・帰り…あまちの森・
しょうよう線3便

09時24分 美濃太田駅南口
09時28分 太田小学校
下車後、逍遙公園にあ
る浸水位標柱を見学し、
公園内を散策。
10時30分 太田小学校
10時35分 美濃太田駅南口



▲太田小学校前の浸水位標柱

今から38年前の1983(昭和58)年9月28日午後7時ごろ、木曾川の堤防をあふれ出た濁流が太田地区などを直撃しました。木曾川上流で降った集中豪雨が原因であるこの水害を、「9・28災害」と呼んでいます。今渡ダムでの放水量は過去最大となり、現在の太田交流センターの位置にあった図書館では、最大浸水位が4.6メートルを記録。被害は、死者が1人、床下浸水が1565棟に上りました。この災害後、木曾川護岸築堤が行われ、市内に災害情報や行政連絡のための防災行政無線が整備されました。

この日の水位を伝える「浸水位標柱」が、太田小学校前の逍遙公園内に残っています。3メートル程あるこの標柱は、大人の背も優に超えています。この他にも、「9・28災害」を伝えるさまざまな表示板や碑が浸水地域に残されています。

災害の記憶を風化させぬよう、伝えていくことが地域の防災力につながっていきます。こうした災害を伝えるしるしに、いま一度目を向けて見ませんか。

【参考】みのかも文化の森ホームページ「美濃加茂事典」

☎文化の森 ☎28・1110



▲太田小学校へ避難する被災者